

JIS

コンクリート用スラグ骨材ー 第2部：フェロニッケルスラグ骨材

JIS A 5011-2 : 2016

(JMIA/JSA)

平成 28 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|-------|--------|--|
| (委員長) | 宇治 公隆 | 首都大学東京 |
| (委員) | 綾野 克紀 | 公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学) |
| | 木幡 行宏 | 室蘭工業大学 |
| | 近藤 秀貴 | 一般社団法人セメント協会 |
| | 清水 和久 | 特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会(旭 コンクリート工業株式会社) |
| | 須山 久美子 | 鹿島建設株式会社 |
| | 棚野 博之 | 国立研究開発法人建築研究所 |
| | 塚本 良道 | 公益社団法人地盤工学会 (東京理科大学) |
| | 津川 優司 | 一般社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社) |
| | 早川 光敬 | 一般社団法人日本建築学会 (東京工芸大学) |
| | 原田 修輔 | 全国生コンクリート工業組合連合会 |
| | 久田 真 | 東北大学 |
| | 真野 孝次 | 一般財団法人建材試験センター |
| | 渡辺 博志 | 国立研究開発法人土木研究所 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 9.8.20 改正：平成 28.4.20

官 報 公 示：平成 28.4.20

原 案 作 成 者：日本鋳業協会

(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-17-11 榮葉ビル TEL 03-5280-2327)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 宇治 公隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|--|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 2 |
| 4 種類及び呼び方 | 4 |
| 4.1 種類 | 4 |
| 4.2 呼び方 | 5 |
| 5 品質 | 5 |
| 5.1 一般 | 5 |
| 5.2 化学成分及び物理的性質 | 5 |
| 5.3 粒度、粗粒率及び微粒分量 | 6 |
| 5.4 アルカリシリカ反応性 | 7 |
| 5.5 環境安全品質基準及び環境安全受渡検査判定値 | 7 |
| 6 試験方法 | 8 |
| 6.1 試料の採り方 | 8 |
| 6.2 化学成分及び物理的性質試験 | 8 |
| 6.3 粒度試験及び微粒分量試験 | 9 |
| 6.4 アルカリシリカ反応性試験 | 9 |
| 6.5 環境安全形式試験及び環境安全受渡試験 | 9 |
| 7 検査方法 | 10 |
| 7.1 化学成分、物理的性質、粒度、微粒分量及びアルカリシリカ反応性の検査方法 | 10 |
| 7.2 環境安全品質の検査方法 | 10 |
| 7.3 製造ロットの管理 | 11 |
| 7.4 検査データの保管 | 11 |
| 8 表示 | 11 |
| 9 報告 | 12 |
| 附属書 A (規定) フェロニッケルスラグ骨材の化学成分分析方法 | 19 |
| 附属書 B (規定) フェロニッケルスラグ骨材の環境安全品質試験方法 | 38 |
| 附属書 C (規定) フェロニッケルスラグ骨材の環境安全受渡検査判定値の設定方法 | 42 |
| 附属書 D (規定) アルカリシリカ反応抑制対策の方法 | 43 |
| 附属書 E (参考) 技術上重要な改正についての新旧対照表 | 44 |
| 解 説 | 47 |